

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス のこのこ平岡		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 12月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 12月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画に沿った支援を行っている。	職員会議を含め支援計画を職員全員が共有できるようにしています。それに沿った支援が行われるように、利用時の活動を考えられています。	利用児童や保護者の方のニーズを確認しながら支援計画を作成します。支援の工夫も職員で話し合いながら進めていきます。
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されている。	職員同士で情報を共有しながら、利用児童の理解に努めています。また、保護者の方とは送迎時等や定期的な面談の中でニーズ等を聞き、作成に繋げられるようにしています。	利用児童や保護者のニーズを聞き入れたときに、職員内で共有していく機会を会議等で取り入れていきます。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています。	連絡帳や送迎時にその日の様子を伝えています。必要場合はお電話等でお子様の様子や保護者様からの相談を受けるようにしています。	今まで同様情報交換がしっかり行えるようにしていきます。保護者の方からの情報を職員の中でも周知していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもは通所を楽しみにしているかどうか。	保育園への送迎が多く、こどもたちの活動が中断してしまう場合があります。体力的に疲れを感じてしまうことがあると考えられます。	のこのこ平岡での活動の内容を知らせ、見通しがたった中で期待を持てるように働きかけていきます。健康状態を確認しながら、無理のない通所スケジュールを組めるようにしていきます。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	今年度から保護者会の案内を行っています。内容等の情報共有の場面が少ないことが課題として考えられます。きょうだい向けのイベントは今年度は行っていません。	今まで行った保護者会について周知できるようにしていきます。周知した中で参加を促していけたらと思います。きょうだい向けのイベントに関しては、ニーズを確認していきます。
3	個人情報の取扱いに十分に留意されているか。	「説明の時まだ入所していないのに、通っている子の名前が書いた紙を目の前に置かれていたのは驚きました。」との意見がありました。利用曜日の確認をするために、置いたことがありました。	写真等個人情報を使用する際には、事前に保護者様の同意を得たうえで実施しています。また、見学時には特に個人情報保護への意識向上と改善に努めてまいります。